

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-504343 (P2005-504343A)

【公表日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-006

【出願番号】特願 2003-531247 (P2003-531247)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 第 1 のコレステリック液晶材料を含む複数の第 1 の粒子と、

(b) 前記複数の第 1 の粒子と一緒にあって構造体を形成する第 2 のコレステリック液晶材料とを含む光学体であって、前記第 1 のコレステリック液晶材料が前記第 2 のコレステリック液晶材料とは異なるピッチを有する光学体。

【請求項 2】

前記第 2 のコレステリック液晶材料が、複数の第 2 の粒子として分散されている、請求項 1 に記載の光学体。

【請求項 3】

前記光学体が、少なくとも 200 nm のスペクトル幅を有する光を反射する、請求項 1 に記載の光学体。

【請求項 4】

前記第 1 のコレステリック液晶材料の前記粒子が、前記第 2 のコレステリック液晶材料と部分的に拡散されている、請求項 1 に記載の光学体。

【請求項 5】

前記構造体中に配置された第 3 のコレステリック液晶材料をさらに含み、前記第 3 のコレステリック液晶材料のピッチが、前記第 1 および第 2 の液晶材料のピッチとは異なる、請求項 1 に記載の光学体。

【請求項 6】

(a) 第 1 のコレステリック液晶材料を含む複数の第 1 の粒子と、

(b) 前記複数の第 1 の粒子と一緒にあって構造体を形成する第 2 のコレステリック液晶材料とを含む反射型偏光子であって、前記第 1 のコレステリック液晶材料が前記第 2 のコレステリック液晶材料とは異なるピッチを有する偏光子。

【請求項 7】

(a) 第 1 のコレステリック液晶材料を含む複数の第 1 の粒子と、

(b) 前記複数の第 1 の粒子と一緒にあって構造体を形成する第 2 のコレステリック液晶材料とを含むとともに、前記第 1 のコレステリック液晶材料が前記第 2 のコレステリッ

ク液晶材料とは異なるピッチを有する反射型偏光子を含む光学ディスプレイ。

【請求項 8】

光学体の作製方法であって、

(a) 第 1 のコレステリック液晶組成物を含む複数の第 1 の粒子を基板上に配置するステップと、

(b) 第 2 のコレステリック液晶組成物を前記基板上に配置して、前記第 1 のコレステリック液晶組成物と一緒に構造体を形成するステップと、

(c) 前記第 1 および第 2 のコレステリック液晶組成物を、それぞれ第 1 および第 2 のコレステリック液晶材料に変換させるステップとを含む方法であって、前記第 1 のコレステリック液晶材料が前記第 2 のコレステリック液晶材料とは異なるピッチを有する方法。

【請求項 9】

第 3 のコレステリック液晶組成物を配置し、前記第 1 および第 2 のコレステリック液晶組成物と一緒に構造体を形成することをさらに含み、前記第 3 のコレステリック液晶組成物が、前記第 1 および第 2 のコレステリック液晶材料のピッチとは異なるピッチを有する第 3 の液晶材料に変換される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 および第 2 のコレステリック液晶組成物を加熱し、前記第 1 および第 2 のコレステリック液晶組成物間で拡散をおこすことをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。